

提案します！「考える力」を育む授業づくり

置賜教育事務所では、昨年度に引き続き、「担任力」を生かした授業改善について、教科研究員（管内の9名の先生方に委嘱）と置賜教育事務所指導主事による教科研究プロジェクトチームを組織し、協働して研究を進めてきました。今年度は小学校算数・中学校国語・中学校英語の3教科を研究教科とし、「考える力」を育む教科指導改善に向けた研究協議及び学習指導研修会における授業提案を行ってきました。

その研究成果を“**「考える力」を育む授業づくりのポイント**”として提案させていただきます。「担任力」を生かしたこれからの授業改善の参考にいただければと思います。

各教科共通

**思考力・判断力・表現力等が身に付いた
“ゴールの姿”を明確にした授業を！**

- ① 年間指導計画や単元指導計画を見通し、各時間の指導内容を重点化する
- ② 教科の特性に合った、ねらいを達成するための言語活動を設定する
- ③ 学びの実感・納得のともなう「まとめ」や「振り返り」を位置付ける

小学校算数

**“多様な見方”や“筋道を立てた考え方”
を養う授業の創造を！**

- ① 知識・技能を活用する問題解決の場면을単元に位置付ける
- ② 指導者が具体的なイメージを持ち、筋道を立てて説明し合う場面を設け、学び合うよさにつなぐ
- ③ 2問目以降に「確かめ問題」または「チャレンジ問題」等、自力で解決する場면을設ける

中学校国語

“言葉”に生徒の心を通わせた学びを！

- ① 教材の特質と子どもの実態を見極め、年間指導計画を見通して付けたい力を明確にする
- ② 単元の展開部では第三次との関連性を意識させ、子どもの主体的な思考・判断を促す発問や指示を工夫する
- ③ 子どもの思いを掘り起こし、全体で共有することで広がりや深まりを持たせる

中学校英語

**コミュニケーションを中核にした
“インタラクティブ”な授業を！**

- ① 英語が使いたくなるような必要感・必然性のある言語活動を位置付ける
- ② 双方向の交流を大切にコミュニケーションの場を設定する
- ③ CAN-DOリスト等により、学習到達目標を明確にし、振り返りや自己評価の方法を工夫する

※ 今年度の取組の成果を「実践記録集」としてまとめ、置賜教育事務所HPにアップします。教科研究員の先生方の実践（指導案等）も掲載しますので、ぜひご覧ください。

次年度に向けて

置賜教育事務所では、平成26年度も《信頼される学校づくりを進め、知徳体が調和した「いのち輝く子ども」を育成する》ため、「考える力を育む授業づくり」と「自尊感情を育む集団づくり」をポイントとした『おきたまの教育』を発行します。先生方のお手元に届くのは4月になってからですが、一足早くご紹介しますので、次年度の教育課程編成等にご活用ください。

⇒平成二十六年版『おきたまの教育（二月末・未定稿）』です。

おきたまの教育

平成26年度置賜教育事務所

学校教育指導の重点

● 知徳体が調和し、「いのち」輝く人間の育成 ●

元気で、信頼される学校をつくる

子どもと向き合う

- 重点化、焦点化した学校経営
- 課題の共有化と組織としての対応

子どもの学びをつなぐ

- 幼保小及び小中間の連携
- 家庭、地域との協働

「いのち」を見つめる

- 継続的な「生命尊重」の教育
- 読書活動の推進

教職員の力をつける

- 共に学び合う校内研修の充実
- 体罰根絶と「一校一改善」の実践
- いじめの未然防止・早期発見・早期対応

授業を中核に、生きぬく力をはぐくむ

『考える力をはぐくむ授業づくり』

1 自ら学び、考える授業の創造

- 興味・関心を高める指導の工夫
- 思考力・判断力・表現力等の育成につながる言語活動の充実
- 「まとめ」や「振り返り」の明確な位置付け

2 「担任力」を生かした授業実践

- 確かな教材分析と子ども理解に基づいた授業計画
- 学びの見取りに基づいた指導・支援

3 日常授業の充実につなぐ校内研究

- 学校課題の解決に向けた改善策の共有
- 研究の日常化を図る手立ての工夫

『自尊感情をはぐくむ集団づくり』

1 「自己指導能力」をはぐくむ生徒指導の推進

- 生徒指導の機能を生かした授業の実践
- 主体性をはぐくむ児童会・生徒会活動の工夫
- 地域とともにつくる体験活動の充実

2 いじめの根絶に向けた取組

- 児童生徒にとっての魅力ある学級づくりの推進（絆づくり、居場所づくり）
- 「学校いじめ防止基本方針」に基づく組織的取組

3 道徳教育の充実

- 道徳的実践力の育成をめざした教育活動の充実と改善
- 道徳的価値の自覚や生き方を深める授業づくり

『健康でたくましい体づくり』

1 発達段階を考慮した健康・安全教育の推進

- 心身の健康を保持増進するための「実践力」につなぐ取組の充実
- 「危険予測・危険回避能力」を育てる活動の工夫改善
- 家庭・地域と連携した望ましい生活習慣の形成（生活リズム・食習慣）

2 健やかな体をはぐくむ学校体育の充実

- 運動の「楽しさや喜び」を実感できる授業の推進
- 学校・地域の特色を生かした体力づくりの工夫

〈特別支援教育〉

幼小中における特別支援教育の充実を図る

1 校内体制の充実

- 学校間及び家庭や関係機関との情報の引継と連携
- 早期からの継続的・計画的な就学支援及び進路指導の充実

2 子どもの特性に応じた指導・支援の充実

- 「個別的教育支援計画及び指導計画」を活用した指導・支援
- 障がいの特性に応じた適切な教育課程の編成

3 通常学級での指導の充実

- ユニバーサルデザインの考えを生かした学級づくり・授業づくり
- インクルーシブ教育システムの考え方を踏まえた交流及び共同学習

〈幼稚園教育〉

環境構成の充実に努め「生きる力」の基礎を培う

1 自主性と思いやりをはぐくむ指導の充実

- 幼児の主体性を大切に指導と援助
- 計画的な環境構成の工夫

2 開かれた幼稚園経営

- 学校評価を生かした教育課程の編成
- 家庭・地域への積極的な情報提供

3 育ちと学びをつなぐ小学校との連携

- 滑らかな幼保小連携・接続を図る体制づくり
- 「幼保小連携スタートプログラム」の活用